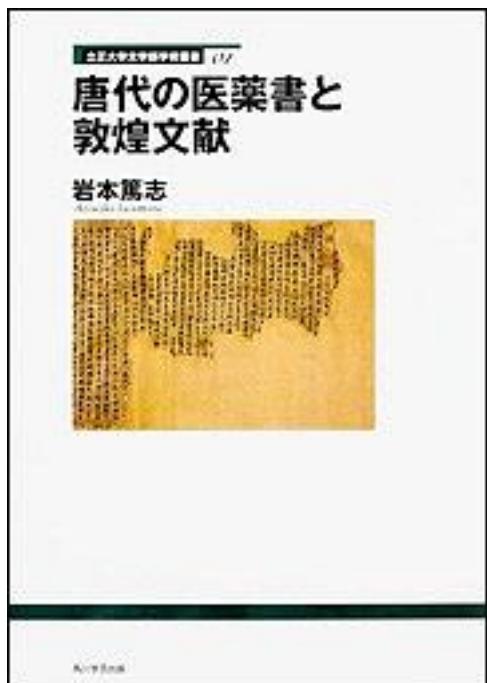


# 唐代の医薬書と敦煌文献



[唐代の医薬書と敦煌文献 下载链接1](#)

著者:岩本篤志

出版者:KADOKAWA/角川学芸出版

出版时间:2015-3-25

装帧:単行本

isbn:9784046536075

中国歴代王朝において医事を管轄し、医術者を養成した組織は、どのような歴史的契機で設置されたのか。南北朝時代から唐代を中心に、敦煌本と日本伝来写本の医薬書の分析をふまえて論証する。

作者介绍:

岩本 篤志 (イワモト アツシ)

1970年静岡県生まれ。早稲田大学教育学部社会科（地歴専修）卒、早稲田大学大学

院文学研究科博士後期課程史学（東洋史）単位取得退学。博士（文学・早稲田大学）。東洋史、特に敦煌文献、医薬文献の研究。財団法人東洋文庫奨励研究員、新潟大学大学院助手、同大学院助教を経て、現在、立正大学文学部史学科専任講師。

目录: 導論 南北朝から隋唐の医薬と社会 – おもに出土文献とのかかわりからみた  
第一部 北朝における医事制度 – 尚藥典御・徐之才を中心に  
第1章 北齊政権の成立と「南士」徐之才  
第2章 北齊・徐之才『薬対』と尚藥局の誕生  
第3章 南北朝から隋唐への医薬書の継承 – 『史記』正義・索隱所引『薬対』考  
第二部 唐朝における医事制度と本草書 – 敦煌本『新修本草』の研究  
第4章 『新修本草』序例の研究 – 敦煌秘笈本を中心に  
第5章 唐朝の医事政策と『新修本草』 – 本草書と土貢  
第6章 紙背からみた敦煌における『新修本草』  
第7章 貝葉形本草考 – 敦煌における本草書と社会  
第8章 敦煌本『新修本草』校注  
第三部 西域出土文献と日本文化  
第9章 六朝隋唐五代と日本における『靈棋經』  
第10章 敦煌吐魯番「発病書」小考 – ロシア・ドイツ蔵文献の試釈と『占事略決』との比較を通して  
結論  
あとがき  
索引  
英文目次  
・・・・・ (收起)

[唐代の医薬書と敦煌文献 下载链接1](#)

标签

敦煌学

敦煌

唐

评论

[唐代の医薬書と敦煌文献 下载链接1](#)

书评

[唐代の医薬書と敦煌文献 下载链接1](#)